

令和8年度

業 務 番 号                      第 330 号

おいらせ町道路附属物点検業務委託

# 特 記 仕 様 書

おいらせ町 地内

おいらせ町

## 第 1 章 総 則

### 第 1 条 適 用

本特記仕様書は、小規模附属物点検業務に適用する。

### 第 2 条 通 則

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「測量作業共通仕様書」によるほか、本特記仕様書、平成 29 年 3 月に国土交通省から通知された「小規模附属物点検要領」に基づく中間点検とする。門型大型道路標識についても、これらの要領を準用することとする。

### 第 3 条 目 的

本点検は、上北郡おいらせ町管内の当町管理の標識等について、落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、施設の健全性の点検を行うとともに、あわせてナットの締め直し等の応急措置を行うことを点検の目的とするものである。本点検を担当する管理技術者は、意図を的確に把握し、点検に手戻りが生じることのないように細心の注意を払い、履行しなければならない。

### 第 4 条 照 査

点検実施にあたり本特記仕様書及び設計図書等に明示なき事項、又は疑義を生じた場合には調査職員と協議の上これを定めるものとする。

### 第 5 条 点検作業計画書

受注者は点検の実施に先立ち、あらかじめ点検作業計画書を作成し、調査職員に提出しなければならない。

### 第 6 条 打合せ

打合せは、原則として点検開始前、中間、成果品納入時の 3 回とするが、必要に応じて随時行う。また、全体計画打合せ及び取りまとめ打合せには、管理技術者は必ず立ち会うものとする。

### 第 7 条 手直し

受注者は本点検が終了したとき、受注者の責に帰すべき理由による不良個所が発見された場合には、速やかに訂正、補足、その他の措置を行わなければならない

### 第 8 条 関係官公庁の手続き等

点検履行のために必要な関係官公庁等に対する諸手続きは、受注者の責任において迅速に処理する。

## 第 9 条 諸法規の遵守について

受注者は点検履行にあたり、諸法規を遵守し点検の円滑な推進を図るとともに、諸法規の運営適用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

## 第 10 条 交通安全管理

本点検の履行にあたっては交通状況を十分に把握し、点検員の人身事故はもとより第三者に危害を及ぼさないよう万全の措置を講じなければならない。

本点検に起因して第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において措置するものとする。

## 第 11 条 委託業務日数又は履行期限

1. 本点検の履行期限は令和 8 年 11 月 30 日迄とする。

## 第 12 条 履行報告

受注者は、契約書第 15 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

## 第 13 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意すること。

## 第 14 条 その他

完成検査の予定については、実施予定の前月 15 日までに予定日を調査職員に報告のこと。

# **第 2 章 点検範囲及び点検の実施体制**

## 第 1 条 点検対象

点検対象は、道路管理者が設置した道路標識、道路照明施設、門型大型道路標識を対象として点検を実施する。

## 第 2 条 点検の実施体制

点検作業は、点検員 1 名、点検補助員は必要に応じて 1 名程度で点検することを基本とする。交通整理員は、点検の種類、附属物の立地条件や交通条件に応じて考慮するものとする。（基本的に高所作業車は使用しない）

管理技術者は、以下の能力と実務経験を有する者、又は、道路標識点検診断士の資格保有者とする。

(1) 附属物（標識、照明施設等）の設計、施工、維持管理に関する基礎知識を有すること。

(2) 附属物（標識、照明施設等）の技術と実務経験を有すること。

### 第 3 条 点検方法

点検方法は、中間点検に基づき路面からの直接又はカメラ等を用いた目視を基本とする。また、必要に応じて調査職員と協議の上、詳細点検を実施するものとする。

### 第 4 条 点検項目

- (1) 「支柱等の本体」、「各部位の接続部」、「支柱基部」、等のき裂、腐食、ゆりみ、脱落、破断などについて点検することとする。
- (2) 点検時に変形が認められた附属物については、き裂等生じていないか構造全体の点検を行うこととする。
- (3) 前回点検時に設置された「合いマーク」の状況を確認し、消えている若しくは消えかかっている場合は、地上部から作業可能な範囲においてボルト・ナット、座金及びプレート部に「合いマーク」を再設置することとする。
- (4) 基礎部が埋め戻されている場合において、目視点検により支柱基部に明らかな変状が認められる場合には、詳細点検に基づき下記により掘削し目視点検することとする。なお、支柱部の露出方法および埋め戻し作業については調査職員と協議のうえ定めることとする。

## 第 3 章 応 急 措 置

### 第 1 条 応急措置

点検で異常を把握した場合は、可能な限りの応急措置を行うこととする。なお、ナットのゆりみ等応急措置を施した場合は、措置内容を記録に残すこととする。

## 第 4 章 計 画 準 備

### 第 1 条 資料収集

受注者は、現地踏査計画を立てるために、おいらせ町役場の施設管理台帳を入手する。

### 第 2 条 基礎データの収集・整理

現地踏査の結果、標識台帳、道路照明施設台帳、門型大型道路標識に登録されていない施設があった場合は、調査職員との協議により点検に併せて台帳を作成することとする。

## **第5章 点検結果のとりまとめ**

### **第1条 点検結果の判定**

点検した附属物毎に次の判定を行うこととする。

判定Ⅰ：異常なし

判定Ⅱ：経過観察の必要あり

判定Ⅲ：施設の倒壊、落下のおそれあり

### **第2条 点検の記録**

点検結果は、「小規模附属物点検要領（平成29年3月 国土交通省道路局）」に基づき、次の様式に記録することとする。

① 点検表（点検結果票）\_様式（その1）

② 状況写真（損傷状況）\_様式（その2）

点検記録票（損傷記録票）は、異常のあったものについて作成することとする。

## **第6章 報告書の作成**

### **第1条 報告書作成**

点検結果を所定の様式で出力し、成果を整理した報告書を作成する。

## **第7章 成果品の提出**

### **第1条 成果品の提出**

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

#### **1. 報告書**

（1）電子媒体（CD-ROM） 2部【※都市整備課提出用 1部含む】

（2）紙媒体（簡易なファイルにとじたもの、図面含む） 1部

#### **2. その他**

（1）現地測量写真集 1部（報告書電子媒体に含む）